

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第11回）
議事要旨

日時 2012年12月25日（火）10:00-12:00
場所 日本学術会議 6-C（1）会議室（6階）
出席者 荒川委員長、長野幹事、西尾幹事、今田委員、岩本委員、大隅委員、岡田委員、永原委員、伊藤委員
陪席 文部科学省研究振興局学術機関課 加藤様、日本学術会議事務局

配布資料（添付省略）

- (1) 資料1：前回議事要旨（案）
- (2) 資料2：第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定の方針（平成24年12月21日付）（以下、本資料を「マスタープラン策定の方針」と略す）
- (3) 参考1：科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会委員名簿
- (4) 参考2：公開シンポジウム「学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン」の開催について
- (5) 参考3：＜参考1＞第3回大型施設計画・大規模研究に関する調査（平成22年9月24日）

議題

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨の確認を行い、原案通りに了承された。

2) 経過報告

荒川委員長より、科学者委員会で「マスタープラン策定の方針」について掲示板を活用して意見交換が行われ、その後メール審議により12月18日に承認された旨、報告された。更に、12月21日開催の幹事会でも「マスタープラン策定の方針」を表出する件について議論され、以下の修正を行った上で公表することが報告された。

修正点：

- ・ (2) 学術大型研究計画の策定 (b) 策定プロセスにある「(3) 分野別委員会または部では、《一定割合（～200／応募総数）》の絞り込みを行う。」の中の《 》部を「一定」に修正。
- ・ (3) 重点大型研究計画の策定 (b) 策定プロセスにある「(2) (1)の予備選考を踏まえて、新たに設置する審査小委員会（分科会レベル）において、ヒヤリングを含め審査を行い、25-30件程度を選ぶ。審査小委員会は、本分科会委員、《分野別委員会委員長》、本分科会が必要と認めた会員もしくは連携会員で構成される。」の《 》部を「分野別委員会を代表する者」に修正。

3) 学術研究領域について

領域名について議論された。大筋では領域名は統一されているが、薬学委員会などでは他の分野別委員会の領域名に比べ若干長い印象があるとのコメントがあった。

融合領域についてはそれ程多くはなく、第一部から提案の融合領域はこのままとし、第三部総合工学委員会から提案の融合領域は「プラズマ科学」を総合工学委員会に入れ、他の学術

領域は機械工学委員会などに吸収し、融合領域は残さないこととした。

長野委員から、イメージングなど学術領域名にいくつか重なりが見られるが、これらを今から調整することは難しく、部によっては学術研究領域名を同名のまま残し、大型研究計画の申請では分野別委員会を超えて共同で提案することもあるとの意見が出された。

4) 大型研究計画の策定プロセスについて

策定プロセスが議論された。確定案について順位付けを行うが、詳細については次回の分科会で詰めることとした。

分野別評価委員会の委員は8-10名の会員・連携会員で構成されることになるが、この場合の委員は、分野別委員会の委員以外から選ぶことも可能であるとした。

5) 大型研究計画の提案募集について

提案数について議論された。(i)研究・教育機関長または部局長等、および(iii)学協会長等からは3件以内、(ii)学術会議会員、連携会員からの提案数は1件以内とすることとした。

提案に際して3名以上(会員1名を含むこと)の推薦を受ける必要があるが、推薦者の推薦文は特に必要としないこととした。

6) その他

公開シンポジウムについて

公開シンポジウムが来年1月21日に行われる予定であるが、近日中に開催についてのお知らせをオープンにする事とした。

7) 次回

次回は、平成25年1月8日に開催の予定。

以上